

データで見る徳島県入試① 2018年・配点ベース（徳島など一部は設問数ベース・%）

■主な都道府県の入試問題文字数比較

2018年	英(文字)	英(単語)	数学	国語	理科	社会	備考
北海道(裁)	13,200	2,500	3,100	未集計	6,600	6,500	(裁)とは、大学の学校が使用する「学校設置問題」
秋田	8,200	1,700	3,900	未集計	4,500	4,700	
宮城(後)	11,000	2,300	3,200	未集計	6,400	8,600	
山形	8,000	1,500	2,300	8,100	6,800	6,000	
福島	9,800	2,000	2,800	10,200	6,300	7,800	
茨城	8,600	1,800	2,100	8,600	5,600	8,700	
埼玉	9,300	1,700	1,600	未集計	6,200	9,400	
埼玉(選)	11,250	2,200	1,800	—	—	—	(選)とは、難関進学校が使用する「選択問題」
千葉(前)	6,517	1,300	1,900	9,000	9,800	9,200	千葉県は「前期」が主流のため、前期問題を集計。
東京	13,300	2,700	2,300	未集計	10,600	9,500	難関校は英数国で「自校作成問題」使用。全教科マークシート使用。
神奈川	13,700	2,800	3,300	16,900	9,400	11,700	全教科マークシート使用。
新潟	8,300	1,600	2,600	未集計	5,200	5,800	
長野	11,700	2,200	4,500	7,900	5,400	9,000	
富山	11,300	2,100	2,700	未集計	5,300	7,200	
石川	8,200	1,700	2,700	未集計	5,600	5,300	
福井	11,100	2,300	1,600	未集計	6,400	8,100	今年度から2レベルに英語では英検取得級に近づけた点あり。
福井B	11,300	2,300	1,700	—	—	—	難関校が英数について「B」問題を使用
静岡	6,400	1,200	1,900	未集計	6,000	6,100	
愛知A	6,500	1,200	1,800	未集計	8,200	6,500	愛知はAと事実上同規模・同形式・同難易度のため省略。
滋賀	7,400	1,500	2,700	未集計	5,000	6,600	
京都(中)	9,000	2,000	1,900	6,000	5,800	6,300	事実上「マークシート」といってよい解答用紙を使用。
大阪B	9,400	1,600	2,400	未集計	10,400	10,100	C(難関)・B(標準)・A(基本)の3グレードに分かれ、学校が選ぶ。
兵庫	10,000	2,100	3,600	未集計	6,800	9,000	
奈良	6,600	1,200	2,100	4,700	4,100	4,900	
広島	7,800	1,400	4,000	未集計	6,700	8,300	
徳島	8,600	1,700	2,600	未集計	4,900	6,200	
愛媛	8,100	1,600	1,900	未集計	7,500	6,900	
福岡	7,300	1,300	2,900	未集計	5,800	3,300	
熊本A	6,700	1,000	3,000	8,500	8,200	8,300	
熊本B	7,400	1,300	3,400	—	—	—	難関校が英数について「B」問題を使用
沖縄	10,400	2,100	2,900	未集計	8,800	8,600	

■英語：説明+英作文ランキング

順	英語	種別	説明+英作
1	広島県	一般	48
2	鹿児島県	一般	43
3	佐賀県	追加	42
4	滋賀県	一般	42
5	新潟県	一般	40
6	東京都	自校	38
7	富山県	一般	38
8	青森県	一般	37
9	和歌山県	一般	37
10	三重県	後期	36
11	佐賀県	一般	36
12	埼玉県	一般	35
13	福井県	一般B	35
14	福岡県	一般	35
15	島根県	一般	32
16	大分県	一般	32
17	静岡県	一般	31
18	岡山県	一般	31
19	香川県	一般	30
20	福井県	一般A	29
21	大阪府	一般B	29
22	長崎県	一般B	29
23	宮城県	後期	28
24	鳥取県	一般	28
25	山形県	一般	26
26	埼玉県	選択	26
27	奈良県	一般	26
28	熊本県	一般B	26
29	群馬県	一般	24
30	大阪府	一般C	24
31	高知県	一般A	24
32	石川県	一般	23
33	北海道	裁量	22
34	栃木県	一般	22
35	岐阜県	一般	20
36	秋田県	一般	19
37	茨城県	一般	18
38	長野県	一般	18
39	愛媛県	一般	18
40	徳島県	一般	17
41	岩手県	一般	16
42	東京都	一般	16
43	山梨県	一般	16
44	熊本県	一般A	16
45	沖縄県	一般	15
46	東京都	自校	14
47	長崎県	一般A	13
48	北海道	一般	12
49	東京都	自校	12
50	千葉県	前期	12
51	愛知県	一般A	9
52	愛知県	一般B	9
53	山口県	一般	8
54	宮城県	一般	8
55	福島県	一般	6
56	神奈川県	一般	5
57	京都府	中期	0
58	兵庫県	一般	0

■国語：説明作文ランキング

順	国語	種別	説明+論述
1	広島県	一般	52
2	滋賀県	一般	49
3	大阪府	一般C	48
4	石川県	一般	45
5	静岡県	一般	44
6	福岡県	一般	43
7	北海道	裁量	40
8	新潟県	一般	40
9	大阪府	一般B	39
10	山形県	一般	37
11	栃木県	一般	37
12	埼玉県	一般	34
13	福井県	一般	34
14	和歌山県	一般	33
15	長崎県	一般	33
16	島根県	一般	32
17	山口県	一般	32
18	鹿児島県	一般	32
19	群馬県	一般	31
20	宮城県	後期	30
21	三重県	後期	30
22	岡山県	一般	28
23	高知県	一般A	28
24	茨城県	一般	27
25	青森県	一般	26
26	岩手県	一般	26
27	群馬県	一般	26
28	東京都	日比谷	26
29	熊本県	一般	26
30	大分県	一般	25
31	山梨県	一般	24
32	香川県	一般	24
33	北海道	一般	22
34	鳥取県	一般	22
35	秋田県	一般	21
36	東京都	都立西	20
37	長野県	一般	18
38	奈良県	一般	18
39	福島県	一般	17
40	富山県	一般	17
41	沖縄県	一般	17
42	宮城県	一般	13
43	東京都	国立	12
44	千葉県	前期	12
45	東京都	一般	10
46	徳島県	一般	10
47	佐賀県	一般	10
48	愛知県	一般A	9
49	愛知県	一般B	9
50	神奈川県	一般	6
51	愛媛県	一般	6
52	京都府	中期	0
53	兵庫県	一般	0

■理科：説明ランキング

順	理科	種別	説明+論述
1	広島県	一般	56
2	滋賀県	一般	47
3	石川県	一般	35
4	静岡県	一般	34
5	山形県	一般	33
6	福岡県	一般	33
7	福井県	一般	30
8	山口県	一般	28
9	群馬県	一般	24
10	島根県	一般	24
11	高知県	一般A	24
12	熊本県	一般	24
13	福井県	一般	22
14	埼玉県	一般	21
15	新潟県	一般	21
16	三重県	後期	20
17	秋田県	一般	18
18	奈良県	一般	18
19	岩手県	一般	18
20	香川県	一般	18
21	長崎県	一般	18
22	青森県	一般	15
23	岡山県	一般	15
24	岩手県	一般	14
25	和歌山県	一般	14
26	大阪府	一般	13
27	大分県	一般	13
28	栃木県	一般	12
29	愛媛県	一般	12
30	沖縄県	一般	11
31	山梨県	一般	11
32	宮城県	一般	10
33	愛知県	一般A	9
34	徳島県	一般	9
35	鹿児島県	一般	9
36	宮城県	後期	8
37	茨城県	一般	8
38	千葉県	前期	7
39	富山県	一般	7
40	福島県	一般	5
41	京都府	中期	5
42	神奈川県	一般	4
43	佐賀県	一般	4
44	岐阜県	一般	3
45	東京都	一般	2
46	北海道	一般	0
47	愛知県	一般B	0
48	兵庫県	一般	0

■社会：説明記述&情報型問題ランキング

順	社会	種別	説明	順	社会	種別	知識+情報
1	広島県	一般	80	1	広島県	一般	76
2	滋賀県	一般	59	2	宮城県	一般	70
3	福岡県	一般	52	3	愛知県	一般A	55
4	宮城県	一般	47	4	愛知県	一般B	50
5	静岡県	一般	45	5	滋賀県	一般	50
6	鹿児島県	一般	44	6	秋田県	一般	49
7	長野県	一般	36	7	石川県	一般	48
8	奈良県	一般	34	8	長野県	一般	43
9	埼玉県	一般	33	9	静岡県	一般	43
10	石川県	一般	32	10	徳島県	一般	43
11	和歌山県	一般	32	11	鳥取県	一般	40
12	群馬県	一般	31	12	福岡県	一般	38
13	福井県	一般	30	13	宮城県	後期	37
14	秋田県	一般	29	14	埼玉県	一般	36
15	山口県	一般	28	15	大分県	一般	35
16	高知県	一般A	28	16	栃木県	一般	34
17	熊本県	一般	28	17	茨城県	一般	32
18	山形県	一般	27	18	香川県	一般	32
19	岩手県	一般	25	19	愛媛県	一般	32
20	宮城県	後期	25	20	熊本県	一般	32
21	岡山県	一般	25	21	富山県	一般	31
22	栃木県	一般	24	22	神奈川県	一般	31
23	三重県	後期	24	23	群馬県	一般	31
24	佐賀県	一般	24	24	鹿児島県	一般	31
25	新潟県	一般	23	25	京都府	中期	30
26	徳島県	一般	23	26	佐賀県	一般	30
27	山梨県	一般	22	27	兵庫県	一般	29
28	島根県	一般	22	28	福島県	一般	28
29	大分県	一般	22	29	岩手県	一般	26
30	富山県	一般	20	30	山形県	一般	26
31	香川県	一般	20	31	山口県	一般	26
32	福島県	一般	19	32	長崎県	一般	26
33	長崎県	一般	19	33	東京都	一般	25
34	青森県	一般	18	34	山梨県	一般	25
35	愛媛県	一般	16	35	青森県	一般	24
36	北海道	一般	13	36	福井県	一般	24
37	茨城県	一般	12	37	岐阜県	一般	23
38	千葉県	前期	12	38	岡山県	一般	23
39	岐阜県	一般	12	39	千葉県	前期	22
40	鳥取県	一般	12	40	和歌山県	一般	22
41	東京都	一般	10	41	北海道	一般	20
42	沖縄県	一般	10	42	高知県	一般A	20
43	愛知県	一般A	9	43	沖縄県	一般	20
44	愛知県	一般B	9	44	新潟県	一般	18
45	大阪府	一般	7	45	大阪府	一般	18
46	神奈川県	一般	5	46	奈良県	一般	18
47	京都府	中期	5	47	島根県	一般	4
48	兵庫県	一般	0	48	三重県	後期	0

※上のランキングは、各種別の問題が、100点満点とした場合、何点分を占めるかを集計したものです。配点非公表の県は「設問数」で集計しています。ここでの「説明記述」とは、基本的に「一文以上」の規模の解答を求め問題の意味を意味します。東京都の英語・数学の、自校作成問題は日比谷・西・国立の3校分のみ集計・分析の対象として表示してあります。

データで見る徳島県入試③ (2019年・複線型読解比率の都道府県比較・配点ベース～一部設問数の%・作成途上)

英語	複	数学	複	国語	複	理科	複	社会	複	平均
北海道	33	北海道	0	北海道	13	北海道	23	北海道	15	16.8
宮城県	17	宮城県	0	宮城県	24	宮城県	9	宮城県	37	17.4
埼玉県	16	埼玉県	7	埼玉県	3	埼玉県	29	埼玉県	14	13.8
埼玉県 選	21	埼玉県 選	0							10.5
東京都	20	東京都	0	東京都	5	東京都	8	東京都	40	14.6
千葉県	12	千葉県	0	千葉県	18	千葉県	11	千葉県	7	9.6
神奈川県	34	神奈川県	10	神奈川県	10	神奈川県	24	神奈川県	58	27.2
長野県	46	長野県	0	長野県	34	長野県	6	長野県	50	27.2
静岡県	14	静岡県	0	静岡県	0	静岡県	14	静岡県	11	7.8
富山県	31	富山県	0	富山県	3	富山県	8	富山県	23	13
石川県	26	石川県	10	石川県	26	石川県	4	石川県	27	18.6
福井県A	25	福井県A	0	福井県	0	福井県	0	福井県	26	10.2
福井県B	14	福井県B	0							7
滋賀県	27	滋賀県	18	滋賀県	35	滋賀県	16	滋賀県	34	26
京都府	40	京都府	0	京都府	30	京都府	5	京都府	15	18
大阪府	21	大阪府	0	大阪府	22	大阪府	17	大阪府	20	16
大阪府C	51	大阪府C	0	大阪府C	22					24.3
兵庫県	53	兵庫県	0	兵庫県	23	兵庫県	9	兵庫県	19	20.8
広島県	36	広島県	6	広島県	32	広島県	22	広島県	48	28.8
徳島県	37	徳島県	0	徳島県	36	徳島県	0	徳島県	11	16.8
福岡県	17	福岡県	8	福岡県	42	福岡県	7	福岡県	42	23.2
沖縄県	23	沖縄県	0	沖縄県	62	沖縄県	2	沖縄県	20	21.4

キーワード 複線型読解

単線型読解

情報が順番に並んでおり、それを読み進めればよい
例) 国語のいわゆる読解問題……文章を前から後に読めばよい

複線型読解

情報は複数のグループに分散しており、並行して読み進める必要がある
例) 国語の資料読み取り問題……文章と図表・グラフを並行して読む必要がある

参考 大学入試の比較 ▼▼▼▼▼▼▼▼

「共通テスト」のプレテストで、「複線型読解」を要求する設問の比率を進級で比較した。
数値のとおり激増である。

左の「高校入試」と比較すると、「共通テスト」を意識して作問しているかもしれない自治体がいづつか認められる。
同時に、センター試験でごく稀だった「複線型読解」がここまで急激に増えていることは、当然、今後の高校入試に影響を与えると予想される。

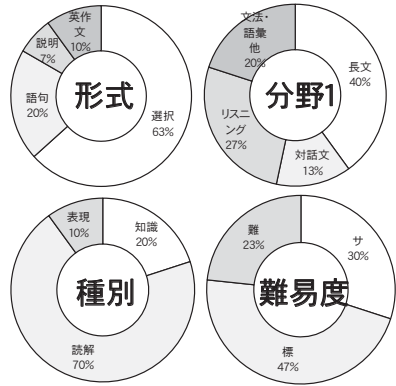
複線型読解問題	英語(筆記)	数学I・A	数学II・B	国語	世界史B	日本史B
18年度センター	18.8%	5.4%	0.0%	2.8%	5.6%	19.4%
17年度プレ	64.7%	47.9%	24.3%	45.7%	55.6%	74.2%
18年度プレ	61.8%	33.3%	20.5%	27.5%	55.9%	70.6%

2019年度 徳島県入試の《2行総括》

- 英語** 全体にベーシックな文章と設問
リスニングに英作文が登場・平易な問いだがフリーズの恐れがある・要対策
- 数学** 全体にベーシックな設問だが、活用的な問題が導入され始めた(昨年度から?)
上記と関連して文字数の増加傾向がある…読解力重視と即断は難しいが…
- 国語** 全体にベーシックな文章と設問
「作文」の配点が高い故(…はず…20点くらい?)、十分な準備と対策が望まれる

- 理科** 「知識・情報型」問題増のため、過去問以外からの類題演習が必要
仮説検証型や推理的な問題への対策が急務かも
- 社会** 全体にベーシックな設問だが、地理・公民の「知識・情報型」が差がつくポイント
資料読み取りの練習が効果的か
- 概況** 各教科とも「基礎学」から離れる傾向がわずかながら見える
「共通テスト」を考える場合は、要注目

設問のバランス



総評と特徴のまとめ

- ・設問数はやや少なめ
→ 読解問題の大問4・5は文章が短く、その分設問数も少ない。部分読みで解ける問題もあるので、手早く解いてしまいたい
- ・選択型問題が60%以上と、やや多い
- ・リスニング・知識型問題にサービス問題が多い
→ 落としてしまうと合否の差がついてしまう部分であるため注意が必要
- ・リスニングの最後に英作文との分野横断型問題が初登場
→ 今後も出る可能性がある
- ・長文の中に自分の意見を書かせる活用型の英作文問題が2問出題されている
→ 一つは日本文化と関連した問題。このテーマは全国的にもよく出題されている。
- ・指定された文が本文中のどこに入るのかを問う問題が出題されている
→ 全国的に出題傾向急上昇の問題パターン。類題での練習が必要

傾向と対策

徳島県 2019年度 一般 英語

大問構成はリスニング3題・語彙と文法問題・対話文・長文2題の計7題。長文の中に英作文の問題も入っており、読解が中心とはいえバランスの取れた出題となっている。リスニングでは今年から英作文と分野横断型の活用型問題が初めて出題された。このタイプの問題は、他県では毎年出題されることもある。本県の問題だけでは不十分なので、そのような問題も使いながら対策しよう。

大問5の対話文・6の長文は、設問数がそれぞれ4問ずつとかなり少ない。しかも大問6については1問は長文の内容を発展させた英作文問題で、必ずしも文章全体を読まなくても解ける問題である。この英作文が、昨年から出題され始めた部分である。25~40語という大規模な英作文となった。受験生の中には戸惑った生徒も多かったのではないかと。準備メモの中身を参考にできるので、理由が書きやすそうなものを選ぶとよい。

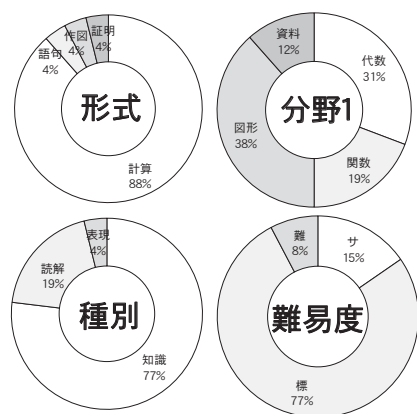
表現型問題が年々増えている。左の表のパーセンテージは1問1点計算なのでそれほど増えていくように感じないが、やはり英作文は配点が多いのが一般的である。必ず対策しておくべきタイプの問題だと言えよう。

大問6は設問数は多いが、英問英答や英作文など、難問が最初の方に来ている。そして英作文の直後に、やや難易度の落ちる空所補充問題が来ている。ここでは小問単位で解く順番を考え、難しい問題は後回しにしたい。通読して答えを導く問題が多い分、それほど全体の設問数は多くない。大問4など、前半の知識型問題は手早く終わらせ、後半の長文問題に時間を割けるようにしたい。

全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	分野3	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考
1	1	リスニング	1	A 内容把握	日常生活	選択	読解	1	2	1	4	サ			対話とその後の質問を聞き、答えとなるイラストを選択	イラスト
2	1	リスニング	1	B 内容把握	日常生活	選択	読解	2	1	1	4	サ			対話とその後の質問を聞き、答えとなるイラストを選択	イラスト
3	1	リスニング	2	A 図・グラフ読み取り	社会科学	選択	読解	1	1	1	3	サ			英文を聞き取りグラフにあてはまる国を選択	活用型(グラフ読み取り)
4	1	リスニング	2	B 図・グラフ読み取り	社会科学	選択	読解	2	2	1	5	標			英文を聞き取りグラフにあてはまる国を選択	活用型(グラフ読み取り)
5	1	リスニング	2	C 図・グラフ読み取り	社会科学	選択	読解	1	2	1	4	サ			英文を聞き取りグラフにあてはまる国を選択	活用型(グラフ読み取り)
6	2	リスニング	1	英問英答	日常生活	選択	読解	2	1	1	4	サ			まとまった対話文を聞き、その後の英語の質問に対する答えとなる英文を選択	
7	2	リスニング	2	英問英答	日常生活	選択	読解	3	2	1	6	標			まとまった対話文を聞き、その後の英語の質問に対する答えとなる英文を選択	
8	3	リスニング		自由英作文	日常生活	英作文	表現	2	3	3	8	難			英文を聞き、自分が普段週末に行うことを記述	活用型(意見)・分野横断(リスニング+英作文)
9	4	語彙・イディオム	1	a 空所補充	日常生活	選択	知識	2	1	1	4	サ			英文中の空所に入る単語を選択	
10	4	語彙・イディオム	1	b 空所補充	日常生活	選択	知識	2	1	1	4	サ			英文中の空所に入る単語を選択	
11	4	語彙・イディオム	2	a 空所補充	買い物・道案内	選択	知識	2	1	1	4	サ			対話文中の空所に入る英文を選択	
12	4	語彙・イディオム	2	b 空所補充	日常生活	選択	知識	2	1	1	4	サ			対話文中の空所に入る英文を選択	
13	4	語彙・イディオム	2	c 空所補充	日常生活	選択	知識	2	2	1	5	標			対話文中の空所に入る英文を選択	
14	4	文法問題	3	並び替え	日常生活	語句	知識	2	1	2	5	標			対話文中のカッコ内の英単語を並び替えて記号で記述	間接疑問文
15	5	対話文	1	空所補充	電話	語句	読解	2	2	2	6	標			対話文中の空所に入る語を記述	2語
16	5	対話文	2	内容一致	電話	選択	読解	3	3	1	7	標			対話の内容と一致する英文を選択	
17	5	対話文	3	a 要旨・要約	電話	語句	読解	3	3	2	8	難			対話の内容と合うようにメールの空所に入る英語を記述	1語
18	5	対話文	3	b 要旨・要約	電話	語句	読解	3	3	2	8	難			対話の内容と合うようにメールの空所に入る英語を記述	1語・抜き出し
19	6	長文	1	空所補充	レポート・スピーチ	語句	読解	2	2	2	6	標			本文中の空所に共通して入る語を記述	1語・抜き出し
20	6	長文	2	その他	レポート・スピーチ	選択	読解	3	2	1	6	標			本文のタイトルとしてふさわしいものを選択	
21	6	長文	3	条件英作文	レポート・スピーチ	英作文	表現	1	3	4	8	難			3つの日本の伝統文化のうち、体験を勧めるものとその理由を記述	活用型(意見)・25~40語
22	7	長文	1	その他	レポート・スピーチ	選択	読解	3	2	1	6	標			指定された英文が本文中に入る場所を選択	
23	7	長文	2	a 英問英答	レポート・スピーチ	説明・小	読解	2	2	3	7	標			本文に関する英文の答えを英語で記述	Yes/No Question・3語以上の1文
24	7	長文	2	b 英問英答	レポート・スピーチ	説明・小	読解	2	3	3	8	難			本文に関する英文の答えを英語で記述	What-?の文・3語以上の1文
25	7	長文	3	空所補充	レポート・スピーチ	選択	読解	3	3	1	7	標			本文の内容に合うように英文の空所に入る英語を選択	
26	7	長文	4	条件英作文	レポート・スピーチ	英作文	表現	2	3	3	8	難			学校新聞の第2号の内容として自分が載せたいものを考えて記述	活用型(意見)・6語以上の1文
27	7	長文	5	a 要旨・要約	レポート・スピーチ	選択	読解	3	3	1	7	標			本文に関する英文の空所に入る語を選択	
28	7	長文	5	b 要旨・要約	レポート・スピーチ	語句	読解	3	3	2	8	難			本文に関する英文の空所に入る語を記述	1語・抜き出し
29	7	長文	6	1 内容一致	レポート・スピーチ	選択	読解	3	3	1	7	標			本文の内容と一致する英文を選択	順不同
30	7	長文	6	2 内容一致	レポート・スピーチ	選択	読解	3	3	1	7	標			本文の内容と一致する英文を選択	順不同

設問のバランス



総評と特徴のまとめ

- ・活用型問題が出題
→ルールを正しく読み取れるか、正しく使えるか
→情報を1つずついねいに整理
- ・与えられる図はシンプル
- ・最初は易しい問題、だんだん難しくなる問題配列
- ・各大設問の最後は難問
→解く順番を意識した練習を

傾向と対策

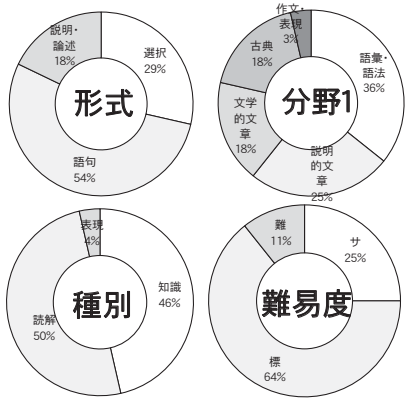
徳島県 2019年度 一般 数学

大設問5には「ラグビー」をテーマに図形の問題を解く設問が、大設問3は「ハイキング」をテーマに、関数と方程式の問題を解く設問がそれぞれ登場した。従来の「数学の問題を解くこと」よりも、「数学を日常生活に活用すること」を要求している。このような活用型問題は、全国的に増加しているため、全国の入試問題を探すとたくさん訓練できる。訓練の際は、「この問題は何を問われていて、どのように解答するのか」を意識して解こう。関数・図形とも与えられる図はとてシンプルである。等しい辺・角、必要な補助線を図の中にどんどんかき込むことが解答への近道だ。まずは、教科書や参考書から「シンプルな図」であるものを探し、かき込んだり図を新たにかき直したりする練習をしよう。このとき、問題文に直接書いてあることだけでなく、図形の性質や前の設問でわかったことなどもかき込むクセをつけよう。標準問題が多く出題されている。時間のかかる難問は各大設問の最後に用意されているが、数は少ない。時間よりも確実さを意識しよう。計算練習は、基本的な計算を数多く解き、ミスをしたら「どのようなミスをしたのか」を分類しよう。分類したら多いミスパターンを重点的に訓練し、また分類をする。時間を短くして、意図的にミスをしやすい状況を作って解くことも効果がある。

全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考
1	1	代数	1	正負の数	計算	知識	1	1	2	4	サ			正負の減法	
2	1	代数	2	展開	計算	知識	1	1	2	4	サ			乗法公式を用いた展開	
3	1	関数	3	比例反比例	計算記述	知識	1	1	3	5	標			反比例の式を立式	
4	1	図形	4	平行と合同	計算記述	知識	1	1	3	5	標			正五角形の内角の和を計算	
5	1	代数	5	2次方程式	計算	知識	1	1	2	4	サ			因数分解を利用した2次方程式の解法	
6	1	代数	6	平方根	計算記述	知識	1	2	3	6	標			平方根を含んだ不等式を満たす自然数をすべて記述	完全解答
7	1	資料	7	確率	計算記述	知識	1	2	3	6	標			500円100円50円10円の硬貨を投げて表が出た硬貨の合計が600円以上になる確率を計算	
8	1	関数	8	1次関数	計算記述	知識	2	2	3	7	標			直線とx軸が交わる点を通る別の直線の式を計算	
9	1	図形	9	空間図形	計算記述	知識	1	2	3	6	標			円錐の展開図をもとに底面の半径を計算	
10	1	資料	10	資料の活用	計算記述	知識	2	2	3	7	標			度数分布表をもとに中央値が含まれる階級の相対度数を計算	
11	2	図形	1	空間図形	語句	知識	1	1	2	4	サ			ねじれの位置にある辺をすべて記述	完全解答
12	2	図形	2	空間図形	計算記述	知識	1	2	3	6	標			三平方の定理を利用して辺の長さを計算	
13	2	図形	3 a	空間図形	計算記述	知識	1	2	3	6	標			相似の面積比を計算	
14	2	図形	3 b	空間図形	計算記述	知識	2	2	3	7	標			相似の体積比を利用して立体の体積を計算	
15	3	関数	1	1次関数	計算記述	知識	2	2	3	7	標			午前9時の2地点の気温の差を計算	活用型
16	3	代数	2 aア	連立方程式	計算記述	読解	1	2	3	6	標			のぼるさんの考え方の空欄にあてはまる数値を計算	活用型・完全解答
17	3	代数	2 aウ	連立方程式	計算記述	読解	2	2	3	7	標			のぼるさんの考え方の空欄にあてはまる式を立式	活用型
18	3	代数	2 aエ	連立方程式	計算記述	読解	2	2	3	7	標			のぼるさんの考え方の空欄にあてはまる式を立式	活用型
19	3	代数	2 b	連立方程式	計算記述	読解	2	2	3	7	標			チェアリフトの椅子の速さと連続する2つの椅子の間隔をそれぞれ計算	活用型・完全解答
20	4	関数	1	2次関数	計算記述	知識	1	2	3	6	標			放物線上の点の座標を計算	
21	4	関数	2	2次関数	計算記述	知識	1	2	3	6	標			放物線上の点とy軸上の点を通る直線の方程式を計算	
22	4	図形	3	2次関数	計算記述	知識	2	2	3	7	標			等積変形を利用して2つの三角形が等しくなるときの点Pのy座標を計算	
23	4	図形	4	2次関数	計算記述	知識	2	3	3	8	難			AP+BPの最短距離をもとに放物線の比例定数を計算	パターン問題・文字を利用
24	5	資料	1	確率	計算記述	知識	1	2	3	6	標			5チームが総当たり戦を行ったときのすべての試合数を計算	
25	5	図形	2 a	平面図形	作図	読解	1	2	3	6	標			3点を通る円の中心を作図	活用型・作図プロセスの記述も可
26	5	図形	2 b	円	証明	表現	2	3	4	9	難			円周角の定理を利用してある角がもう一方の角よりも大きくなることを証明	活用型

設問のバランス



総評と特徴のまとめ

- ・易化—易しいサービス問題増加。難問減少。選択問題増加も易化の要因
- ・知識問題さらに増加—38%→40%へ
→漢字や文法等、知識問題は確実な得点のため練習が必要
- ・大設問3に新傾向問題登場—アクティブラーニング的設問。本文に加え、学習ノートや発表原稿メモなど複数のテキストを参考に解く
→「何をするのか」をすばやく把握することが必要。設問や発表原稿から読み、やることを把握してから本文を読む
- ・資料読み取りを含む作文問題—条件に従ってとにかく書こう
→設問や条件にマークし、「何を」「どのように」書くのかメモを作ってから書き始めよう。資料読み取りは変化の大きい部分に注目

傾向と対策

ここ数年の難化傾向から一転し、易化。知識問題が2ポイント増加(38%→40%)。知っていれば解くことができるため、事前の準備をして得点源にせよというメッセージが読み取れる。選択問題が8ポイント増加。説明・語句記述は72%に減少したとはいえ、全国最高レベルの書かせる入試に変化はない。読解記述問題は大きく3種類に分類できる。1、本文の傍線部についてまとめた短い文章の空欄補充+書き抜き。これは空欄の前後の語句を本文中から探すことで、答えを見つけやすくなる。2、空欄補充+考えて書く。空欄の前後の語句をヒントに答えになりそうな部分を探し、字数を参考に必要な形に加工する。3、傍線部の説明。空欄の前後の語句にマークし、本文中の同じ語句にマークしたり、「繰り返される語」「言い換えられる語」にマークしたりすることで、傍線部と解答が離れている難問にも対応できるようになる。

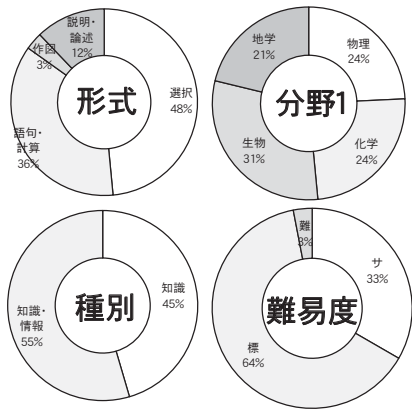
大設問3がアクティブラーニングの新傾向問題。説明的文章と「あずささんのノート」「発表原稿メモ」という3種類のテキストが提示される。縦書きで、昨年よりも国語らしい形式になる。情報が多いときは、設問から読み、何をするのか把握してから取り組もう。ここでも、マークが有効。資料となる説明的文章の中から情報を探し、既に書き込まれている情報と同じパターンで記述。読解の要素が増える。新傾向ではあるが読解問題と知識問題の組み合わせに易化した感がある。恐れず解こう。作文は、資料読み取りを含む。資料は変化の大きい部分に注目して読み取ろう。「何を」「どのように」書くのか、設問や条件にマークして整理し、どんな内容にするか簡単なメモを作ってから書こう。条件に従うことで、構造のしっかりした文章になる。全国的な傾向として、初めて見るものから必要な情報を読み取り解決する力が求められる。教科書、小テスト、問題集など、つねに丁寧に読むことに意識を向けることが重要である。

徳島県 2019年度 一般 国語

全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小説問	分野2	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考	作者	作品名
1	1	語彙・語法	1 a	漢字	語句	知識	2	1	2	5	標			漢字：読み(添える)			
2	1	語彙・語法	1 b	漢字	語句	知識	1	1	2	4	サ			漢字：読み(膨らむ)			
3	1	語彙・語法	1 c	漢字	語句	知識	2	1	2	5	標			漢字：読み(吟味)			
4	1	語彙・語法	1 d	漢字	語句	知識	1	1	2	4	サ			漢字：読み(摂理)			
5	1	語彙・語法	2 a	漢字	語句	知識	1	1	2	4	サ			漢字：書き(預ける)			
6	1	語彙・語法	2 b	漢字	語句	知識	1	2	2	5	標			漢字：書き(射た)			
7	1	語彙・語法	2 c	漢字	語句	知識	1	1	2	4	サ			漢字：書き(推測)			
8	1	語彙・語法	2 d	漢字	語句	知識	2	1	2	5	標			漢字：書き(候補)			
9	1	語彙・語法	3	語句知識	選択	知識	2	2	1	5	標			文法：傍線部と同じ働きの「られる」を含む文を選択			
10	1	語彙・語法	4	語句知識	選択	知識	2	3	1	6	標			書写：行書で書かれた4つの漢字のうち行書と楷書の筆順が変化しないものを選択			
11	2	文学的文章	1	内容把握	語句	読解	2	2	2	6	標			傍線部とは何を指したのか、本文中より1文を抜き出しはじめの3字を記述	青羽悠		星に願いを、そして手を。
12	2	文学的文章	2	内容把握	説明・小	読解	3	2	3	8	難			傍線部についてわかることを15〜20字で指示に従って記述	青羽悠		星に願いを、そして手を。
13	2	文学的文章	3	内容把握	選択	読解	2	2	1	5	標			傍線部が表す僕の様子の説明を選択	青羽悠		星に願いを、そして手を。
14	2	文学的文章	4	内容把握	説明・小	読解	3	2	3	8	難			傍線部についてある生徒がまとめた文の空欄に入る語句を指定語句を使い25〜30字で記述	青羽悠		星に願いを、そして手を。
15	2	文学的文章	5	内容把握	選択	読解	2	2	1	5	標			本文について述べたものを選択	青羽悠		星に願いを、そして手を。
16	3	説明的文章	1 A	内容把握	語句	読解	1	2	2	5	標			本文をまとめた「ノート」の空欄に入る語句を4字で書き抜き	新傾向・活用的・プレゼンテーション	安田登	能 650年続いた仕掛けとは
17	3	説明的文章	1 B	内容把握	語句	読解	1	2	2	5	標			本文をまとめた「ノート」の空欄に入る語句を漢字2字で記述	新傾向・活用的・プレゼンテーション	安田登	能 650年続いた仕掛けとは
18	3	説明的文章	2	内容把握	説明・小	読解	2	2	3	7	標			能の歴史における「初心」をどのようなこととして捉えているか15〜20字で説明	新傾向・活用的・プレゼンテーション	安田登	能 650年続いた仕掛けとは
19	3	説明的文章	3	内容把握	選択	読解	2	3	1	6	標			本文の14段落目の働きを選択	新傾向・活用的・プレゼンテーション	安田登	能 650年続いた仕掛けとは
20	3	説明的文章	4 a	内容把握	語句	読解	2	2	2	6	標			本文をまとめた「ノート」のXに入る文の空欄に入る語句を9字で書き抜き	新傾向・活用的・プレゼンテーション	安田登	能 650年続いた仕掛けとは
21	3	説明的文章	4 b	内容把握	語句	読解	2	3	2	7	標			本文をまとめた「ノート」のXに入る文の空欄に入る語句を「チャンス」という語を使い10字以内で記述	新傾向・活用的・プレゼンテーション	安田登	能 650年続いた仕掛けとは
22	3	説明的文章	5	内容把握	選択	読解	2	2	1	5	標			発表で新たな文章を紹介するそのねらいを選択	新傾向・活用的・プレゼンテーション	羽生善治	決断力
23	4	古典	1	語句知識	語句	知識	1	1	2	4	サ			歴史的仮名遣い：「いみじう」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書く		清少納言	枕草子
24	4	古典	2 a	語句知識	選択	知識	1	2	1	4	サ			2つの古文を読んだ後の会話文の空欄に入る文法用語を選択	会話文・古文二つ	清少納言	枕草子
25	4	古典	2 b	語句知識	選択	知識	1	1	1	3	サ			2つの古文を読んだ後の会話文の空欄に入る古文の作者名を選択	会話文・古文二つ	清少納言	枕草子
26	4	古典	2 c	内容把握	説明・小	読解	2	2	3	7	標			2つの古文を読んだ後の会話文の空欄に入る語句を15〜20字で記述	会話文・古文二つ	清少納言	枕草子
27	4	古典	2 c	内容把握	語句	読解	2	3	2	7	標			2つの古文を読んだ後の会話文の空欄に入る語句を7字以内で記述	会話文・古文二つ	清少納言	枕草子
28	5	作文・表現	作文	論述・大	表現		2	2	4	8	難			「相手との伝え合い」で重視することについて、資料をから読み取ったことと考えを10〜13行で作文	資料読み取り		

設問のバランス



総評と特徴のまとめ

- ・活用型問題が出題
- ・大設問2以降1つの実験・観察から設問が構成
 - 現象の原理の理解を要求
 - 用語の暗記、原因、似た現象とのつながりを意識
 - 資料を読み取る「ひとひねり加えた」設問
 - 実験と日常生活、根本原理を意識
- ・難問はほとんどない。設問同士のつながりは薄めの一問一答タイプ
 - 得意なものは確実に得点。解きやすい設問から解く訓練を

傾向と対策

徳島県 2019年度 一般 理科

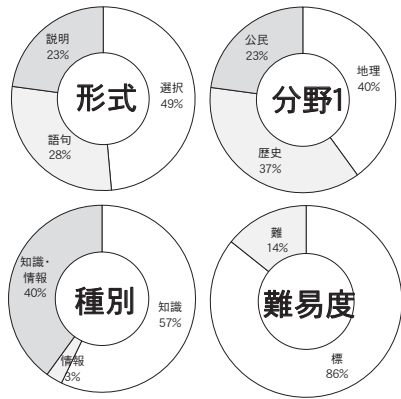
大設問5には、「デンプンの分解について」の実験問題、大設問3には状態変化についての根本原理解を問うものが出題された。また、大設問2の天体の問題では、火星と金星についての図形的なイメージが必要な設問となっている。これらは、覚えた知識をただ単純に答えればよいものとはちがひ、情報や知識をもとにしてそれを利用する「活用型問題」である。教科書にある発展内容にも目を通して、現象に関する根本原理の理解を進めよう。全国の入試問題を解く機会では、「この実験は日常生活とどこでつながっている」「この現象はこのような原理で起こる」などという視点を意識しよう。

大設問2以降の問題は、1つの実験・観察から設問が構成される。問われている実験は教科書レベルであるが、現象の根本原理の理解が試されたり、実験の方法や結果、それから導かれる考察を問われたりと、こちらも単なる用語や現象の暗記では解答できない。まず基本的な知識を押さえる際、ただ暗記するのではなく、起こった現象の原因や理屈を理解し、さらに「似たような現象が起こる実験はないか」などと他のつながりなども意識しながら暗記しよう。実験については、教科書に載っているものは「方法・結果・考察」の3点セットでノートにまとめよう。

全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	記点	正答率	内容	備考
1	1	化学	1 a	化合と分解	語句	知識	1	1	2	4	サ			水素と酸素が反応してできた物質の名称を記述	
2	1	化学	1 b	化合と分解	選択	知識	2	1	1	4	サ			水素と酸素が反応したときのモデル図を選択	
3	1	生物	2 a	植物のはたらき	語句	知識	1	1	2	4	サ			胚珠がむきだしになっている植物の名称を記述	
4	1	生物	2 b	植物のはたらき	選択	知識	1	2	1	4	サ			マツの説明で誤っているものを選択	
5	1	地学	3 a	地層	選択	知識	2	1	1	4	サ			フズリナの化石を含んだ地層ができた地質年代を選択	
6	1	地学	3 b	地層	語句	知識	1	1	2	4	サ			地層ができた地質年代を推定することができる化石の総称を記述	
7	1	物理	4 a	力と圧力	計算記述	知識・情報	1	2	3	6	標			2人の乗った体重計が同じ値を示すようにしたときの値を計算	根本原理解
8	1	物理	4 b	力と圧力	語句	知識	1	1	2	4	サ			2人の間に成り立つ法則の名称を記述	
9	2	地学	1	太陽系の天体	語句	知識	1	1	2	4	サ			太陽系の天体のうち8個の星の総称を記述	
10	2	地学	2	太陽系の天体	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			金星の輝いて見える部分の形を選択	根本原理解
11	2	地学	3	太陽系の天体	説明・小	知識	1	2	3	6	標			火星が真夜中に見られない理由を説明	パターン記述
12	2	地学	4 a	太陽系の天体	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			金星の見かけの大きさと日没から沈むまでの時間についての説明文の2つの空欄にあてはまる語句をそれぞれ選択	根本原理解・完全解答
13	2	地学	4 b	太陽系の天体	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			10月1日の真夜中に火星が見られる方角を選択	根本原理解
14	3	化学	1	物体の状態	語句	知識	1	1	2	4	サ			固体がとけて液体に変化するときの温度の名称を記述	
15	3	化学	2	物体の状態	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			加熱前と加熱20分後のときのバルミチン酸のようすを表したモデルをそれぞれ選択	根本原理解・完全解答
16	3	化学	3	物体の状態	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			すべてのバルミチン酸がとけ終わった時間を選択	
17	3	化学	4	物体の状態	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			バルミチン酸の質量を2倍にしたときの加熱時間と温度の関係を表したグラフを選択	根本原理解
18	3	化学	5 a	物体の状態	語句	知識	1	2	2	5	標			バルミチン酸が液体から固体になったときの密度についての考察文の2つの空欄にあてはまる語句をそれぞれ記述	完全解答・根本原理解
19	3	化学	5 b	物体の状態	計算記述	知識・情報	2	2	3	7	標			液体のバルミチン酸の密度と体積をもとに固体のバルミチン酸の密度を文字式を使って立式	根本原理解
20	4	物理	1	電流と電圧	作図	知識・情報	1	2	3	6	標			豆電球に加わる電圧と流れる電流の大きさを調べられるように回路図を作図	実験の方法
21	4	物理	2	電流と電圧	説明・小	知識・情報	2	2	3	7	標			電気抵抗が大きい抵抗器を選択しそれを選択した理由を説明	完全解答・根本原理解
22	4	物理	3 ア	電流と電圧	計算記述	知識・情報	1	2	3	6	標			抵抗器Aに加わる電圧の大きさを計算	
23	4	物理	3 イ	電流と電圧	計算記述	知識・情報	1	2	3	6	標			抵抗器イに加わる電圧の大きさを計算	
24	4	物理	4	電流と電圧	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			豆電球が明るく点灯する順に回路を並べる	根本原理解・実験の考察・並べかえ
25	4	物理	5	電流と電圧	説明・小	知識	1	2	3	6	標			複数の電気器具をつないで使用すると危険な理由を説明した文の2つの空欄にあてはまる語句を選択し説明	完全解答・日常生活の応用
26	5	生物	1	ヒトのからだのつくり	語句	知識	1	1	2	4	サ			デンプンを麦芽糖に分解する消化酵素の名称を記述	
27	5	生物	2	ヒトのからだのつくり	選択	知識	1	2	1	4	サ			ペネジト液を加えて加熱するときの操作の説明文の2つの空欄にあてはまる語句をそれぞれ選択	実験器具の使い方・完全解答
28	5	生物	3 AC	ヒトのからだのつくり	選択	知識	2	2	1	5	標			2つの試験管の結果からわかることを選択	実験の考察・根本原理解
29	5	生物	3 BD	ヒトのからだのつくり	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			2つの試験管の結果からわかることを選択	実験の考察・根本原理解
30	5	生物	4 X	ヒトのからだのつくり	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			デンプン溶液とうすめた唾液のかわりに入れる液を選択	根本原理解・仮説検証
31	5	生物	4 色	ヒトのからだのつくり	選択	知識・情報	2	3	1	6	標			消化酵素について調べた実験での色の変化を選択	根本原理解・仮説検証・実験の結果
32	5	生物	5	ヒトのからだのつくり	選択	知識・情報	2	3	1	6	標			小腸の壁から吸収されたブドウ糖について述べた正しい説明文を選択	根本原理解
33	5	生物	6	ヒトのからだのつくり	説明・小	知識・情報	2	3	3	8	難			食物繊維がヒトのエネルギー源にならない理由を分解・吸収の語句を用いて説明	情報処理・語句指定記述

設問のバランス



総評と特徴のまとめ

- ・知識問題中心
→「誤っているもの」を選択する問題があるため、丁寧に読む
- ・説明問題は毎年出題
→今年は1問減少の8問
→活用型や語句説明が中心
- ・定番の計算問題からの出題なし(過去の出題例)
→2016年度 時差・縮尺
→2017年度 為替相場
→2018年度 時差
→出題されてもよいように定期テストレベルの問題から確実に解く
- ・情報活用型問題が出題
→他県の入試問題を通じて対策する方法も有効

傾向と対策

徳島県 2019年度 一般 社会

設問数は例年40問弱。選択問題が半分近くを占める。ただし、選択問題とはいっても正しい語句を選ぶシンプルなものではなく、組合せを選択する問題や誤っているものを選択する問題や文章による選択であるため、単なる語句暗記だけでは得点できないようになっているので、注意が必要だ。また語句記述は、「ワーク・アンド・バランス」を解答させるものがやや難だったが、それ以外は基本的な語句が中心。ここで確実に得点をとりたいところだ。社会で差をつけたい人は説明問題に力を入れること。今年は1問増加の9問。今年の入試でも「瀬戸内の気候」や「銀行の利潤」のように定期テストでも見られるパターン型記述に加えて情報活用型が出題。「戸籍」を用いた推理問題や「効率と公正」に関する問題の対策には、教科書にある単元ごとの発展学習やコラムのページを活用するのも有効だ。教科書によって内容は異なるが、地理の「過疎地域のむらおこしの事例」を公民の「効率」の面から考えてみるとどうなるか、など少し視野を広げると活用型問題で出題されそうなテーマとなる。また、他県の活用型の入試問題に挑戦するのも有効。毎年、図や写真、統計資料が多く、読み取りに手間がかかる問題が多いので、苦手にしている人にはそれだけでも大変だ。対策としては「解ける問題はできるようにする」、ここで言う「解ける問題」とは「知識のみで解ける問題」のことである。単なる語句暗記にとどめず内容までしっかりおぼえることが重要。したがって過去問演習では、知識のみで解答できる選択・語句問題は短時間で、資料を用いた情報活用型問題ではじっくり時間をかけて解答する流れを確立したい。

全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小説問	分野2	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考
1	1	歴史	(1)	古代	選択	知識	2	2	1	5	標			稲作が広まった弥生時代の生活について述べた文を選択	
2	1	歴史	(2)	古代	語句	知識	2	2	2	6	標			遣唐使が始まってから停止するまでの間におきた4つのできごとを起こった順に並び換え	
3	1	歴史	(3)	古代	語句	知識	2	2	2	6	標			資料の宝物(螺鈿紫螺五絃琵琶)が正倉院に納められた時代の国際色豊かな文化を何と解釈	
4	1	歴史	(4)	中世	選択	知識	2	2	1	5	標			モンゴルの襲来後に与えられた徳政令について述べた文を選択	
5	1	歴史	(5)	中世	語句	知識	2	1	2	5	標			表中の空欄にあてはまる織田信長が長篠の戦いで使用した武器名を解答	
6	1	歴史	(6)	近世	選択	知識・情報	2	3	1	6	標			南蛮貿易が行われたころの日本で最大の銀の産地と地図中の場所の組合せを選択	資料・データ読取
7	2	歴史	(1)	近世	説明・小	知識・情報	2	2	3	7	標			外国船が日本近海に現れたとき藩が異なった対応をした理由について説明文の空欄にあてはまる内容を説明	資料・データ読取
8	2	歴史	(2)	近現代	選択	知識	2	3	1	6	標			明治時代の社会や文化について述べた文を選択	
9	2	歴史	(3)	近現代	選択	知識	2	3	1	6	標			大正時代を説明した文の空欄にあてはまる内容を選択	
10	2	歴史	(4)	近現代	選択	知識	3	2	1	6	標			第一次世界大戦が始まる前の世界のできごとについて述べた文を選択	
11	2	歴史	(5)	近現代	説明・大	知識・情報	2	2	3	7	標			日中戦争が始まった1937年以降、学生が工場に動員されるようになった理由を資料をもとに「戦地」「労働力」を用いて説明	資料・データ読取
12	2	歴史	(6)	近現代	語句	知識	2	1	2	5	標			占領軍によって政治や経済の民主化が始まった頃について説明した文の空欄にあてはまる語句を解答	
13	3	地理	(1)	日本の姿	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			略地図中に示した経線は何度かを選択	資料・データ読取
14	3	地理	(2)	世界から見た日本の姿(人口)	語句	知識	2	1	2	5	標			計画的に建設が進められた大都市周辺部の住宅団地や市街地を何と解釈	
15	3	地理	(3)	世界から見た日本の姿(人口)	説明・小	知識・情報	2	2	3	7	標			資料を見てわが国の地形と人口の分布の特徴について適切な数値と「平野」を用いて「国土」に続けて説明	資料・データ読取
16	3	地理	(4)	日本の諸地域	説明・小	知識	3	2	3	8	難			菊の生産について愛知県と沖縄県にみられる共通の工夫について説明した文の空欄にあてはまる内容を説明し、かつ出題時期に関する語句を選択	
17	3	地理	(5)	日本の諸地域	選択	知識・情報	2	3	1	6	標			略地図中の4県の統計資料から佐賀県と大分県にあてはまるものをそれぞれ選択	資料・データ読取
18	4	地理	(1)	世界の諸地域	語句	知識	2	1	2	5	標			スカンディナビア半島にみられる氷河によって削られた谷に海水が深く入り込んだ地形の名称を解答	
19	4	地理	(2)	世界各地の人々の生活と環境	選択	知識・情報	2	3	1	6	標			資料で示した雨温図から、その都市の自然環境について述べた文を選択	資料・データ読取
20	4	地理	(3)	日本の姿	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			略地図中の4つの都市のうち東京との時差が最も大きい都市を選択	資料・データ読取
21	4	地理	(4)	世界の諸地域	語句	知識	3	3	2	8	難			アメリカの工業について説明した文をおこった順に並び換え	新傾向
22	4	地理	(5)	世界の諸地域	選択	知識・情報	2	3	1	6	標			略地図中に示した国及び日本の穀物自給率に関する表からフランスにあてはまるものを選択	資料・データ読取
23	5	公民	(1)	現代社会と私たちの生活	説明・小	知識・情報	2	1	3	6	標			わが国の世帯数あたりの人の推移に関する表から家族のかたちがどのように変化してきたかを説明	資料・データ読取+パターン型記述
24	5	公民	(2)	(a) 国の政治のしくみ	選択	知識	2	2	1	5	標			国会または内閣の権限について述べた文を選択	
25	5	公民	(2)	(b) 国の政治のしくみ	語句	知識	2	2	2	6	標			裁判所にある法律や規則などが憲法に違反していないかどうかを判断する権限の名称を解答	
26	5	公民	(3)	くらしと経済	選択	知識	2	2	1	5	標			流通について述べた文のうち誤っているものを選択	
27	5	公民	(4)	(a) 国際社会と私たち	選択	情報	2	2	1	5	標			国際連合の州別加盟国数の表から読み取れる内容を説明した文を選択	資料・データ読取
28	5	公民	(4)	(b) 国際社会と私たち	選択	知識	2	2	1	5	標			世界の子どもの命と健康と教育を守る活動を行う国際連合の機関を選択	
29	6	歴史	(1)	近世	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			資料にある旅行記や案内書が作成された時代の交通の様子について誤っているものを選択	資料・データ読取
30	6	地理	(2)	(a) 世界から見た日本の姿(人口)	語句	知識	2	2	2	6	標			生活する場所を都市から生まれ故郷の地方へと戻すことを何と解釈	
31	6	地理	(2)	(b) 世界から見た日本の姿(人口)	説明・大	知識・情報	3	3	3	9	難			地方へ移住した大都市出身者の生活に変化に関するグラフについて考察した説明文の空欄にあてはまる内容を説明	資料・データ読取+活用型
32	6	地理	(3)	(a) 世界から見た日本の姿(資源と産業)	選択	知識・情報	2	2	1	5	標			産業別就業人口のグラフにあてはまる第1次産業～第3次産業の組合せを選択	資料・データ読取
33	6	地理	(3)	(b) 世界から見た日本の姿(資源と産業)	説明・大	知識	3	3	3	9	難			6次産業化の取り組みを各産業の意味をふまえて「地域ブランド」を用いて説明	活用型+新傾向
34	6	公民	(4)	(a) 現代社会と私たちの生活	説明・大	知識・情報	2	3	3	8	難			日本とスウェーデンの子育てに関する資料から考察した説明文の空欄にあてはまる内容を説明	資料・データ読取
35	6	公民	(4)	(b) 現代社会と私たちの生活	語句	知識	2	3	2	7	標			男女がともにその能力を發揮できるように仕事と家庭の調和を図ることを何と解釈	カタカナ指定